

第266回

JA Onomichi General Hospital

オープンカンファレンス

CPC「消化管ステント留置を行った進行食道癌の一例」



研修医：内海 孝法
病理研究検査科
主任部長：米原 修治

【症 例】90歳 男性

【主 訴】嚥下困難 食事摂取困難

【現病歴】

貧血精査の上部消化管内視鏡検査にて早期胃癌と診断、翌年に食道腫瘍を指摘されるも本人希望にて無治療経過観察中であった。初診から約3年後に、嚥下困難、食事摂取困難となり当院を受診した。

【経 過】

入院2日目に食道ステント留置。その後から、呼吸状態の悪化をきたし、入院11日目に永眠された。

【考 察】

本症例の問題点は、本人希望により術前に十分な精査ができなかったことにある。死因としては、食道ステント留置に伴う気管・気管支の圧迫と嚥下性肺炎による呼吸不全が推測された。剖検では、食道腫瘍は気管・気管支へ直接浸潤しており、内腔の高度な狭窄を呈していた。

【結 語】

食道ステント留置後に、急激な経過を辿った1例を経験した。食道ステント挿入時には、処置に伴うQOLの著しい低下が生じる可能性を考慮し、術前の患者の病勢把握、適切な治療選択・安全性の再確認、また十分なインフォームドコンセントを行うことが重要である。

CPC「膵腫瘍の一例」

退形成膵管癌は、浸潤性膵管癌の一亜型である。膵癌の中でも非常に珍しく、発育が急速で診断時にはすでに進行している場合が多いため、予後は非常に不良である。

今回我々は、EUS-FNAで組織型診断が可能であったにも関わらず、有効な治療を行えないまま急速な経過を辿った退形成膵管癌の1例を経験した。このような稀で予後不良な癌においては、いまだ有効な治療法も確立されておらず、今後も症例の集積が待たれることを学んだ。



研修医：和田 あずさ
病理研究検査科
主任部長：米原 修治

尾道総合病院からのご案内

内視鏡検査又は治療の患者様を ご紹介頂く際のお願い

患者様が鎮静剤を希望され使用した場合、検査終了後、半日程度眠気、フラフラ感が続く場合があります。患者様をご紹介頂く際には、以下の点を守っていただくようお願い下さい。

●検査当日は車、バイク、自転車の
運転はしないでください。

もし、ご自分で運転されて来院の場合、鎮静剤の使用はできませんのでご了承ください。

ご紹介の際のお願い

診療情報提供書を郵送して頂く場合は、

『地域医療連携室』宛

をお願い致します。

〒722-8508

広島県尾道市平原一丁目 10-23

J A尾道総合病院 地域医療連携室



ふれあいサロン

日時：第2・4火曜日 13:00~14:30

場所：1階 会議室（医療福祉支援センター奥）

平成26年9月9日

心を元気にしていつまでも
しゃんと暮らそう

担当：笑い療法士



平成26年9月23日

音楽療法

懐かしい音楽や季節を感じられる
音楽を、聴いて歌って、ゆっくり
とした時間を過ごします。



心臓いきいき教室

日時：第2火曜日 15:00~15:30

場所：心臓リハビリテーション教室

平成26年9月9日

狭心症
心筋梗塞について

担当：循環器科医師



平成26年10月14日

これっ（心筋梗塞・心不全手帳）
てスゴいんです！！

担当：看護師・理学療法士



地域医療連携実績 平成26年7月

紹介実績		共同利用実績			
紹介率	80.2%	CT	38	RI	8
逆紹介率	83.1%	MRI	20	内視鏡	33

診療科	紹介数	逆紹介数	診療科	紹介数	逆紹介数	診療科	紹介数	逆紹介数
内科	324	379	脳神経外科	36	56	眼科	81	74
精神科・神経科	0	0	心臓血管外科	27	86	耳鼻咽喉科	75	65
循環器科	67	131	小児外科	4	2	放射線科	71	69
小児科	50	44	皮膚科	58	53	麻酔科	9	1
外科	77	113	泌尿器科	51	73	総合診療科	45	14
整形外科	115	41	産婦人科	81	36	歯科口腔外科	96	49